

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エイアンドティー

コード番号 6722 URL <http://www.aandt.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 礒村 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 新国 泰正

四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日

TEL 045-440-5810

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	6,145	15.6	515	83.0	501	87.8	321	142.8
23年12月期第3四半期	5,316	△4.6	281	△43.5	267	△45.2	132	△44.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	51.40	—
23年12月期第3四半期	21.17	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
24年12月期第3四半期	7,798	51.6	4,027	48.9	51.6	643.74
23年12月期	7,727	48.9	3,779	48.9	48.9	604.06

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 4,027百万円 23年12月期 3,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	2.5	720	△12.6	700	△12.9	455	△4.7	72.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	6,257,900 株	23年12月期	6,257,900 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	940 株	23年12月期	940 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	6,256,960 株	23年12月期3Q	6,257,001 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなど将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国の経済情勢は、震災復興需要を背景に景気が持ち直していくことが期待される一方、欧州、中国をはじめとした海外経済の減速、長期化する円高・デフレ等により、依然として厳しく、楽観できない状況にあります。

国内の医療業界におきましては、少子高齢化、メタボ検診の周知等により、当社の事業基盤である血液検査の需要が見込まれる一方、医療費の増大を抑制するため、医療制度と社会保障制度の抜本的改革が求められております。このような環境下において医療機関は様々な改革や収益改善の取り組みを進める中、平成24年度の診療報酬改定は、全体でプラス0.004%とほぼ据え置き改定となりました。臨床検査分野では特筆すべき改定事例は見られませんでした。また、海外の臨床検査市場におきましては、新興国を中心に日本の高機能な検査装置に対する需要が高まっております。

このような事業環境のもと、当社は臨床検査のIT化、自動化を推進する臨床検査機器システムの新バージョン、海外向け製品の研究開発投資を重点的に実施いたしました。また、営業担当者を増員し、全国の支社を5支社から8支社へ拡大することで、臨床検査情報システム、検体検査自動化システムの新規顧客獲得と既存顧客の更新需要の取り込みに注力いたしました。また、平成23年8月に中国の瀋陽東軟医療系統有限公司(英文名称 Neusoft Medical Systems Co., Ltd. 以下、東軟医療)との間で設立に合意した合弁会社(出資比率 東軟医療 51.0%、当社 49.0%)東軟安徳医療科技有限公司(英文名称 Neusoft A&T Diagnostics Co., Ltd. 以下、東軟安徳)につきましては、平成24年2月22日に当局より設立の認可が下り、営業ライセンスを取得しております。東軟安徳は今後発展が期待される中国の臨床検査市場にかかわる製品の開発、生産、販売、保守・メンテナンス等を行い、東軟医療の持つ販売網および既存顧客を活かして事業を展開していく予定であります。また、当社は日本における臨床検査事業の総合技術メーカーとしてノウハウを提供してまいります。

国内販売につきましては、臨床検査情報システム、検体検査自動化システムの顧客獲得を推進した結果、案件数が増加いたしました。また、OEM向け検体検査装置とそれに付随する消耗品が堅調に推移したことなどから、当第3四半期累計期間の売上高は、6,145,137千円(前年同期比15.6%増)となりました。利益面におきましては、社内インフラの更新、支社拡大、人材採用の増加を推進しながら、各製品原価の低減、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は515,105千円(同83.0%増)、経常利益は501,904千円(同87.8%増)、四半期純利益は321,614千円(同142.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ71,504千円増加し、7,798,796千円となりました。流動資産は同430,699千円の減少、固定資産は同502,203千円の増加となりました。流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が977,348千円減少したことによるものです。固定資産の増加の主な要因は、投資その他の資産のうち、東軟安徳への関係会社出資金が377,956千円増加したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ176,776千円減少し、3,770,950千円となりました。流動負債は同177,228千円の減少、固定負債は同453千円の増加となりました。流動負債の減少の主な要因は、短期借入金380,000千円増加した一方、支払手形及び買掛金が226,619千円、未払法人税等が207,494千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ248,279千円増加し、4,027,845千円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が246,530千円増加したことによるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、当第3四半期における業績が概ね堅調に計画の範囲内で推移していることから前回(平成24年8月2日発表「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載)の業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正(「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年12月2日 法律第114号)及び「法人税法施行令の一部を改正する政令」(平成23年12月2日 政令第379号))に伴い、第2四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産の減価償却の方法については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	443,634	707,833
受取手形及び売掛金	4,012,793	3,035,445
商品及び製品	310,507	350,179
仕掛品	300,313	473,275
原材料及び貯蔵品	474,401	547,895
その他	231,427	222,944
貸倒引当金	△6,019	△1,214
流動資産合計	5,767,058	5,336,359
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	618,660	614,057
その他(純額)	637,719	654,955
有形固定資産合計	1,256,380	1,269,012
無形固定資産		
	30,535	152,009
投資その他の資産		
関係会社出資金	—	377,956
その他	704,762	694,379
貸倒引当金	△31,444	△30,921
投資その他の資産合計	673,317	1,041,414
固定資産合計	1,960,233	2,462,436
資産合計	7,727,292	7,798,796
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	994,652	768,033
短期借入金	1,320,000	1,700,000
未払法人税等	216,173	8,679
製品保証引当金	126,862	52,220
賞与引当金	5,189	169,344
その他	772,821	560,193
流動負債合計	3,435,699	3,258,471
固定負債		
長期借入金	420,000	420,000
資産除去債務	4,354	5,160
その他	87,672	87,319
固定負債合計	512,026	512,479
負債合計	3,947,726	3,770,950

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	577,610	577,610
資本剰余金	554,549	554,549
利益剰余金	2,651,823	2,898,353
自己株式	△456	△456
株主資本合計	3,783,526	4,030,057
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,960	△2,212
評価・換算差額等合計	△3,960	△2,212
純資産合計	3,779,566	4,027,845
負債純資産合計	7,727,292	7,798,796

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,316,247	6,145,137
売上原価	2,570,396	3,004,895
売上総利益	2,745,850	3,140,241
販売費及び一般管理費	2,464,409	2,625,136
営業利益	281,440	515,105
営業外収益		
受取利息	51	32
受取配当金	1,150	500
投資不動産賃貸料	8,024	7,464
その他	2,386	2,202
営業外収益合計	11,612	10,199
営業外費用		
支払利息	16,216	15,843
投資不動産賃貸費用	4,877	4,987
その他	4,756	2,568
営業外費用合計	25,850	23,399
経常利益	267,202	501,904
特別利益		
有形固定資産売却益	1,200	—
貸倒引当金戻入額	1,341	—
特別利益合計	2,541	—
特別損失		
投資有価証券評価損	29,993	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,042	—
その他	2,033	—
特別損失合計	33,068	—
税引前四半期純利益	236,675	501,904
法人税等	104,230	180,290
四半期純利益	132,444	321,614



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社の事業形態は、主として臨床検査に関する製品及びサービスを顧客に提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。